社会福祉法人 八千代翼友福祉会　広報誌

みどり

友愛みどり園
ケアホームもやい
移動支援事業所「ふくろう」
相談支援事業所 つ む ぎ
あ ご ら　ビータス
き ざ し

2025.4.25 vol.84

〒276-0040 八千代市緑が丘西 5-20-2
TEL 047-458-7477 FAX 047-459-9541
https://yokuyu.or.jp
E-mail: midorien@ca.wakwak.com

Contents

ふくろう …… 1 P
特集「共生」就労編Ⅲ …… 2・3 P
つむぎ …… 3 P
よくゆうぷちねっと …… 4 P
最近気になるお野菜レシピ …… 4 P

移動支援事業所「ふくろう」

この春、「ふくろう」でヘルパーとして活躍してくれていた大学生が卒業し特別支援教育の先生として新しい一歩を踏み出します。初めての事に大きな不安を抱えながらも手探りで「将来の糧になれば」と奮闘してくれた彼女のふくろうへの想いを聞いてみたので紹介します。

Q1 移動支援を始めた当初はどんな想いでしたか？

A 実際に移動支援に携わってみると、コミュニケーションの取り方や関わり方がわからず、余暇を楽しんでもらえているのか毎回不安でした。

Q2 想い出に残っている場面はありますか？

A 特に思い出に残っているのは、利用者さんと毎週のようにプールに通っていた際、もっと充実したサービスが作れないかと思い、自分自身の水泳の経験を活かして利用者さんと「泳げるようになろう」と目標を立てました。はじめは顔を水につけることがあまり得意ではなかったものの、回数を重ねるうちにできることが増え、最終的には私の肩を持ち、体を水に浮かせることができるようになりました。この経験から「利用者さんの“できる”を増やせる移動支援がしたい」と思うようになり、障害をもつ方との向き合い方、支援の考え方が大きく変わったきっかけとなりました。

Q3 ふくろうに携わって良かったことはありますか？

A 1年半、「ふくろう」に携わらせていただいたことで、障害をもつ方の「可能性の広さ」に気付くことができました。そして、その可能性を“できる”につなげるためにはサポートする側の気づきや関わり方で180度変わるということも学びました。私は今後、教育の現場から障害をもつ子どもたちと関わります。ふくろうで学んだ様々な知識とスキルを最大限発揮し、子どもたちが将来社会で活躍できる大人になれるよう、全力でサポートしていきたいと思います。

メリハリをつけて楽しく運動できるように工夫して達成感を得られるように目標を立てる事を提案したのは素晴らしいアイデアだと思います。「泳げるようになった！」とはじける笑顔で私に報告してくれたことを今でも思い出します。若い世代の熱い想いや支援は時にハッとして新しい支援や取り組みの気付き＝ヒントになります。今後も利用者の「できる」が増えていくような支援を提供していきたいと思います。 ㊞

特集「共生」就労編Ⅲ

今回が最後のお話です。

お話を伺った方
社会福祉法人あひるの会あかね園
障害者就業・生活支援センター
就業支援ワーカー　　國島　弘 様

4．作業所、就労系施設という場所で障害者が就労することと、
一般就労の場で障害者が共に働くということ、それぞれについてお聞かせ下さい。

國：福祉的就労でも企業就労でも「人が働く」ことは同じだと思う。一人一人が行っている仕事には全部価値があり、それを尊重すべきだと私は思います。
一方、企業就労も特例子会社を立ち上げて、そこに障害者の方だけを集めて仕事をし、従来の福祉的な発想に近いことを企業がやっています。
一方で、A型事業所は施設外で工場に入り込み仕事をし、福祉的就労と言いつつ、かなり企業側に寄っています。今後、特例子会社は今の形に拘らず、ある程度経験年数を積んで仕事が出来るような方を、本社内に配置し仕事をしてもらう。そして特例子会社の役割としては、定期的に見回り障害者のアフターケアをする。健常者の中での仕事に疲れたり、傷ついたら、また特例子会社に戻してやり直す。全員ではなくとも、出来る方にはその発想があってもいいのではと思う。
更に特例子会社は、健常者の方が障害者の方を束ねる役割をしていますが、障害者はその立場にはなれない。40、50代になっても「ハイハイ」と言い続けるのは、おかしいと思うんです。障害者でも管理・指導的な立場に立てる力を付けている人がいるので、役職を付けてあげたてもいいのではと思う。
或いは障害者雇用と一般雇用とだと、賃金格差があります。障害者雇用は明らかに安い。根っこは障害差別が厳然たる事実としてあるんですよね。
ある青年で、よく気が付き、利発な方の話ですが、結婚したいという夢があり、でも今の給料では出来ないので、本人が以前からやりたいと思っていた仕事に転職したいと申出がありました。勤めていた特例子会社の方にも「うちは給料安いしね……。居なくなれば戦力が欠け辛いけど、希望があるなら、応援しますよ」と認めて下さいました。在職中から私と一緒に転職先を探し、無事に転職しました。現在は、いい額のお給料をもらい、生き生きと働いています。

5．共に働くことが理想とされている中、「雇用代行ビジネス」のような働き方をどうお考えでしょうか？

國：障害者の雇用率が未達の企業に対して、障害者を紹介し、その会社の社員として働く場所も提供し、雇用後の管理もして企業からお金を貰い、それが収益になるビジネスです。障害者を募り、雇用率達成を希望する企業に送り込み、企業の社員としてカウントする。数字では達成になるけど、雇われた障害者は、本社の事業内容をしらないし、本社の従業員も、自社が障害者を雇っている事も知らないし、会った事もない。分離ですよね。人間なのに雇用率を達成する数字でしかない。それを証拠にある業者の仕事の内容は、農業です。でも、そこで作った作物は本人たちが持ち帰るか、本社の食堂のちょっとした添え物にする程度。
今年の様に暑い夏の日は、長時間のハウス作業は無理なので、30分程度作業し、その後1時間はクーラーのきいた部屋で休憩し、ほぼ仕事していない。熱中症予防の必要措置かもしれませんが、作業時間が少ない中、どれ程の仕事をしているのか？市場に出荷するぐらいの作物を育て、汗水たらして働き、売上げを本人たちの給料に還元しているならまだわかります。でも収穫量は収益に関係ないので売れても売れなくてもよく、障害者雇用をした時の特開金（特定求職者雇用開発助成金）がたぶん給与の原資なので、痛さが無いから辞めても次の人を補充すれば済む。
また、障害者の雇用から定着までを人材派遣会社が請け負ってる所もあります。障害者を募集し、会社に送り込み、採用後も会社に定着するよう定期面談や、何かあった時の相談等を担います。でも契約期間が終わると、私たち中ポツに引き継ぎを依頼されます。でもお金を頂き定着支援をしていたのだから最後まで責任を持ち続けて欲しいと思います。
障害者採用や定着支援を全部アウトソーシングし、その会社にお金を払う。そういう事が当たり前になると企業が自社で障害者を雇い、育てる努力は会社ではしなくなってしまう。社員への愛情や前向きな思いはなく、お金で解決していている冷たさを感じるんです。
未達成企業は雇用率が達成でき、重度障害者は一般企業での就職は難しく、できてもB型位の所で、給料も1万～2万しかもらえない。大手の会社に就職出来て、十数万の給料も保障され、親

御さんも安心でウィンウィンと業者は言う。高い給料でうちの子は幸せですっていう親御さんも確かにいます。
でも、会社として雇った自社の社員への愛情や育てる前向きな思いは大切。障害者が働くってどういうことなのか?! って常に問い返していかないとダメなんじゃないのかなって私は思います。

障害者の雇用は進んではきており、表に出てくる情報は数字だけなので、上昇している数字ばかりに着目していましたが、中身との差がこんなにもあるとは驚きでした。発展させていくべき事はまだまだある事を知りました。3回に亘りお送りしてきた「就労編」は今回で終わります。國島様、貴重なお話ありがとうございました。 ㊍

インタビューを読んで

今期の特集テーマは「共生」で、様々な分野での実情を探りたいと考え、設定しました。
最初の分野は「職場」。私たちの法人としては、ほとんど経験できない未知の分野ですので、インタビューから多くの事を学ばせて頂きました。
感想を一言で言えば、「(職場における「共生」の現実は) 厳しいんだなー」です。
職場は、ナマの経済活動そのものですから、当然と言えば当然なのかもしれません。
障害者雇用率を高めなければならない、という共生への大きな流れは確かにあると思います。しかし、それが紹介されていたように特例子会社や雇用代行ビジネスのような形で数合わせにゆがめられてしまっている制度的問題を始めとして、「可愛い子ども」に楽をさせたいと願うご家族、出来たらそれにのりたい当事者、そしてそれらにあまり関わりたくない会社等、共生への逆流となる具体的課題を紹介して頂きました。もちろん、「あかね園」さんのような支援者のおかげで、頑張っている当事者・職場はたくさんあるのだと思います。
國島さんは、「福祉的就労でも企業就労でも『人が働く』ってことは同じだと思う。一人ひとりが行っている仕事には全部価値があり、それを尊重すべき」と述べられていますが、その通りだと思います。
その思想が、一般の職場の中で合理的配慮を伴って生かされ、共生につながっていけば、と切に願います。 ㊥

相談支援事業所 つむぎ

相談支援事業所つむぎは、サービス等利用計画書やモニタリング報告書を作成する時に、ご本人やご家族からお話を聞き、様々な状況を確認させてもらっています。その時に最近、多く聞かれることは、ご家族の高齢化等による家族環境の変化やご本人の障害の重度化により、家庭での対応が難しくなってきたので、新たな住まいの場を探したいということです。

しかし、長年利用してきた日中活動の場所は、本人も慣れているし、楽しく通っているので、変更したくないと希望される方が多いので、さあ、困った……になります。八千代市内にグループホームはできてきていますが、重度の障害がある方を受け入れてくれるグループホームがまだまだ少ないのです。そのような中で、今年度大きく生活を変更された方が数名、いらっしゃいました。自宅から日中活動の事業所に通っていた方々ですが、日中活動先を退所し、入所施設へ入所されました。がらりと環境が変化してしまうことは、ご本人に大きな負担になるのではないか、不安定になってしまうのではないかと心配していましたが、そんなことはなく、新しい環境の中でそれぞれの楽しみ、居場所を見つけ、今では穏やかに過ごせています。重度の障害のある方の将来を考えることは本当に難しく、何が良いか、良くないのか判断にとても迷います。

しかし、このままの生活がご本人に合っていると思っていることこそが思い込みかもしれません。新しい場所で好きな人を見つけたり、穏やかに過ごせたりと新たな一面を見られる可能性があるのであれば、新たな一歩を踏み出す勇気が必要なのかもしれません。それぞれの方にあった生活を送れるようにするためにも障害福祉サービスの更なる充実を願わずにはいられません。 ㊤

よくゆう★ぷちねっと　「私たちの思いII 高齢期への願い」

友愛みどり園も開所から20年以上の月日が経ちました。働き盛りだった利用者も開所時に比べ、心身共に加齢に伴う変化が見られるようになり、その為課題が大きくなってきました。開所時の支援プログラムでは、参加が難しい部分も見られてきたので、高齢を迎える利用者さんの為に、心身の状態に配慮した、適切な新プログラムを検討しているところです。

そこで、新たな支援プログラムを考えていくにあたり、利用者ご本人の生活がどうあって欲しいか、『将来（高齢期）を踏まえた今後の過ごし方の願いや想いについて』ご家族の方へアンケートをお願いしたところ、沢山のご意見や想いを聞かせて頂きました。全てを掲載できておりませんが、皆様に共有し、発信したいと思います。

将来（高齢期）を踏まえた今後の過ごし方の願い

〈健康や年齢に関すること〉

- 足腰などの怪我に気をつけて過ごしてほしいので、年代にあった体力づくりの時間が欲しい。
- 高齢になったら、健康な体を維持するためにウオーキングやストレッチ、軽い運動をして欲しい。
- 高齢になってもみどり園に通い作業をしたり、外出、イベント等の行事にもできる限り参加が出来たら良いと思っている。
- 高齢期をゆっくりと過ごしてほしい。
- 年代にあった体力づくりの時間を設けてはどうか。動くグループ・静かなグループ・年齢の近い人同士のグループなど、グループにあった散歩や運動（ヨガ・体操等）があるとまた違った楽しみや経験が出来るのではないか。
- 健康の為、ウオーキング等毎日の日課に取り入れてほしい。
- 本人の体力、気力にあった活動にしてほしい。
- 座ったままの運動を取り入れるなども考えて欲しい。

〈その他〉

- 今現在は働き盛りなので現状のままでよいが、今後難しくなってきたときには別のプログラムへ移行して欲しい。
- 楽しいとか嬉しいとか美味しいとかそういったプラスの感情を少しでも多く味わってもらいたい。
- 出来る事が増え、周りの為になり、「ありがとう」が増えるといいです。
- これまでも利用者一人ひとりにあったご支援を頂いていますが、今後さらなるご配慮をお願いしたい。
- 仕事を午前のみにして、花を見る、写真を撮る、指先の運動(折り紙、土いじり)
- 旅行や楽しいイベント等、のんびり過ごせる日が欲しい。

皆様のご提案から、高齢化に向けて、今からでもできる事が多くあるように感じました。ご意見を参考に、利用者の皆様が健康で元気に今後も過ごしていく事が出来るよう、一人ひとりの心身の状態に配慮した適切な支援を考えていきたいと思います。

また、掲載出来ませんでしたが、ご家族から高齢期に向けた将来への不安の声も多く寄せられました。これからも皆様に寄り添える支援を心がけていきたいと思っております。貴重なご意見を聞かせて頂きまして有難う御座いました。

清

★パート13　最近気になる

お野菜レシピ　レタス

《レタスのリゾット》 2人分

材料

白ご飯	300g
レタス	1/6個
ベーコン	60g
オリーブオイル	大さじ1
塩	適量
バジル	適量
☆コンソメキューブ	1個
☆パルメザンチーズ	適量
☆水	300ml

つくり方

1，ベーコンは1cm幅、レタスは一口大に切る。

2，フライパンでオリーブオイルを熱し、ベーコンを炒める。

3，白ご飯と☆を加えてお好みのかたさまで煮る。

4，火を止めレタスを加える。

5，ひと混ぜして、バジルを振る。

飯